

# 最新売れ行きBEST本

☆印は初登場!!

2004.10.1~10.31

TTCネットワーク月間データ  
(半巻を除く小社全書種の売れ数)

	書名	著者名	本体	配本日	前月順
☆	1 私の神保町	紀田 順一郎	1800円	04.9.29	New
↑	2 ぼくの読書法	植草 甚一	1400円	04.9.24	16
↑	3 モダンジャズのたのしみ	植草 甚一	1400円	04.9.24	18
↑	4 いい映画を見に行こう	植草 甚一	1400円	04.9.24	20
☆	5 マイルスとコルトレーンの日々	植草 甚一	1400円	04.10.18	New
☆	6 月が昇るとき	ミツチエル	2400円	04.9.30	New
☆	7 ヒッチコック万歳!	植草 甚一	1400円	04.10.18	New
	8 自分の仕事をつくる	西村 佳哲	1900円	03.9.30	4
☆	9 カトマンズでLSDを一眼	植草 甚一	1400円	04.10.18	New
	10 ヤバな科学	池内 了	2200円	04.8.20	2
	11 月と菓子パン	石田 千	1800円	04.5.10	6
↑	12 東京R計画	CET編	2381円	04.9.16	21
	13 J.C.オカザワの銀座を食べる	J.C.オカザワ	1800円	04.6.25	8
	14 映画監督 スタンリー・キューブリック	ロブロット	3800円	04.8.31	10
☆	15 ディナモ ナチスに消されたフットボール	ドゥーガン	2100円	04.9.29	New
	16 統合失調症 ぼくの手記	マクレーン	1800円	04.8.31	5
	17 どんなガンでもあきらめない	村尾 国土	2600円	04.6.30	1
	18 哲学の横町	木田 元	2200円	04.6.30	12
	19 普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	17
	20 平和と平等をあきらめない	高橋哲哉×斎藤貴男	1400円	04.5.28	13
	20 ヒーリング・キャット	葉 祥明	1500円	04.1.30	19

自分の仕事をつくる

西村佳哲 (1900円)

make your work!

03.9月刊

もはや平台の定番!

12刷重版できました5刷

自分の仕事をつくる

西村佳哲 著 本体1900円

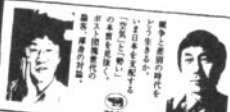
ISBN 4-7949-6585-0

平和と平等をあきらめない

高橋哲哉×斎藤貴男 著

本体1400円 ISBN 4-7949-6611-3

平和と平等をあきらめない



04.5月刊

デザイン、ビジネス、エッセイ等... 11月号

で平台、多面を仕掛けたお店が売れゆきをどんどん伸ばしている驚異のロングセラー! 仕掛けた書店さんが得する本です!

『働くということ』(日本経済新聞社)  
『デザインのデザイン』(岩波書店)  
『グラフィック・デザイナーの仕事』(平凡社) etc.

有事法制、イラク派兵、平和憲法と教育基本法の無力化... 着々と進行し、しのびよる危うい空気に抗し、声をあげ続けるために、現在なおタイムリーな一冊!

麵食いシマダの  
この店に行け!

不定期連載 No.84



リブプロのTさんから「ジュンク堂の裏に旨いうどん屋がありますよ」と聞いた。さっそく行ってみた。通りに面した右側半分がガラス張りの麵打ち場で、見ていると黙々と、延ばし・切りを繰り返している。(打っているところは見えないので、たぶん他から持ち込むのか) 入り口の券売機で食券を買ってから入る。初めて入店したその日は、昼過ぎを大きく外し(そのか空腹感もピークで)大盛券を買う。店内はカウンター5席、大きめのテーブルがふたつ、それぞれが4×4の8人掛けで21席の小体な店である。さとうどんはというと、東京の西部から埼玉県境一帯の武蔵野丘陵に広まった「武蔵野うどん」である。その昔は「糧うどん」といわれ、糧とはお米のことらしい。其期待できそうではないか。「肉汁」

大盛(780円)を選ぶ。長方形の無骨なせいろにたっぷりのうどん。聞くと普通で400グラム、大盛で500グラム(!)とか。どんぶりにはい関東風濃いめのしょうゆ味つゆに、たくさんの具が入る。ワケギは別皿(ネギがだめな人のため)。麺は、極太でねじれている。太さもまばらで、いかにも手切り。長さは60センチはある!にちがいない。一本ずつをつけ汁に移し、二本にからめてたぐるのが正解。あわてて二本をつけ汁に移し、たぐり始めると最後まで入りきらずにギブアップしてしまう。コシの強さは一級品だ。店員のユニホームの背には「コシが自慢のかたやどうどん かめばかむほど 味がでる」と染め抜かれている。つけ汁には、大きめの鶏肉が数個、十センチの長ネギ、揚げの細切りから、旨み・甘みが十分に引き出されている。➡

や「鴨汁」「ヒリ汁」とあり、つけ汁うどんがメインようだ。そのなかで「ヒリ汁うどん」

待望の新作  
出版好調!

語りの背景

加藤典洋 著

(かとう・のりひろ)

10/29 西2本

本体1900円

ISBN 4-7949-6620-2

語りの背景

加藤典洋

季節をなくしたいまをどう彩るか  
顔に墨、手には筆、まなしはこの世界へ  
文芸評論家のハリエティック

お待たせしました

「わたしは「強面」というよりは「尻切れ」である。この本はわたしの真実(?)をよりよく伝えている。語りの背景。この題名も本書の性格を的確に示している。」——本書おしぎきより  
古今さまざまな作家と作品のたまたまに思いをはせ、日々のささいな出来事を喜ぶ。文芸評論家のバリエティックある一冊!

晶文社 11~12月

11月 植草甚一スクラップブック 400頁

岸本葉子・内富康介『がんといひ』

谷川健一『三者の思想』

与那原恵『サウス・トゥ・サウス』

近藤ようこ『後には脱走の如し』

香内三郎『「読者」の誕生』

川本三郎『我もまた者を枕』

12月 小田島寿『無 for Sale』

今一生『ドストエフスキに仕える』(仮)

ルーシー『永遠の少年少女』

永江朗『メディア異人列伝』

仲俣暁生『極西文学論』

コックス『グレーストリー氏の問題』

池内了『考えてみれば不思議なこと』

高平哲郎『合言葉は植草甚一』(仮)

植草甚一スクラップブック 700頁

なるほど、つけ汁は一人前ずつ鍋で火にかけて作っている。店名は「うちたて家」。

場所、JR・東京メトロ池袋駅西口からそのまま西武百貨店に入り、書籍館を通り、突きあたりで地上に出る。信号を渡ってジュンク堂右横のメガネドラッグの東(あずま)通りに入る。数10M先(歩数を調べたら100歩ほど)の右手に大きな看板が眼に入る。「これを本格 武蔵野うどん」と。新橋に支店があるらしい。

讃岐うどんがつるり系に文に対して、武蔵野うどんは野武士のような歯ごたえがある。

そのいっぽう、瀬戸内海のいりこだし独特のややとんかつ風味に文し、こちらのつけ汁には優しいで「グッと来るもの」がある。

この日は昼と夜二回通い、麺だけ1キロ!

嗚呼、もはやからだはうどんの海である。

(追記: 午後3時からの限定メニュー「味噌煮込みうどん 880円」が気になるなあ)

【営業部・島田孝久】